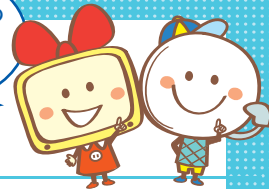


ここが知りたい! Q&A

株主の皆様からのご質問にお答えします。



Q.1

最近「4K放送」という言葉をよく聞けれど、いったい何のこと?



→ **A.1 従来のフルハイビジョンテレビと比較して4倍もの画素数を持つ、次世代のテレビ放送のことです。**

髪の毛の一本一本までくっきり映る、驚異的な高画質を実現する4K放送。画質のみならず、奥行き感もわかり、よりリアルな映像を楽しむことができます。さらに、フルハイビジョンテレビの16倍の画素数を持つ放送を8K放送といいます。現在、4K対応受信機も徐々に普及していますが、2020年の東京オリンピックは、4Kのみならず8K放送でも見る事ができるよう、現在取り組みがなされています。

❗ **ココがポイント!**

6月2日に(社)次世代放送推進フォーラムによる試験放送が始まった「Channel 4K」には、当社が保有する通信衛星JCSAT-3Aが利用されています。当社はこの(社)次世代放送推進フォーラムに立ち上げ期から参画しており、NHK、民放各社、メーカー等と協力して4K/8K放送の普及促進に取り組んでいます。

Q.2

4K放送の開始は、スカパーJSATの業績にどのような影響を与えるのかな?



→ **A.2 4K放送の受信機環境が整備されれば、スカパー!プレミアムサービスの受信環境が広がります。**

4K放送や8K放送のような大容量のコンテンツの伝送には、コスト面、安定性、信頼性の面で衛星回線が適しています。現在当社は、「Channel 4K」の試験放送向けに衛星回線を提供しているほか、電波の送出など衛星放送のプラットフォームとしての機能や4Kコンテンツの制作を担っています。この試験放送が「スカパー!プレミアムサービス」と同じ、東経128度に位置する通信衛星を利用することから、4K放送受信機の普及は当社サービスの受信環境が整備されることを意味します。このように、4K/8K放送の普及拡大は当社の両事業にわたって将来の収益に貢献します。

❗ **ココがポイント!**

光ファイバー経由の「スカパー!プレミアムサービス光」でも4K放送が見られることを目指した、NTTグループとの伝送実験にも成功したほか、2016年以降には東経110度に位置する通信衛星回線を利用した衛星基幹放送でも展開できるよう技術検証や環境整備を進めています。

